

令和7年7月1日号

まちなみ通信 No.74

～ 令和6年度修理事業について② ～



伝建制度50周年記念事業
「伝建スタンプリリー」

廿日市市宮島町のスタンプ

－ 修理事業内容 －

令和6年度の市の補助事業を活用した2棟の伝統的建造物の修理工事が、完了しています。前月号に続き、北之町の岡崎家についてご紹介します。

岡崎家は、町家通りに位置しており、江戸末期から明治初期ごろに建てられたと推定される木造平屋の伝統的建造物です。工事内容としては、主に外観に関する修理と、老朽化した構造材の補強のための内部改修です。

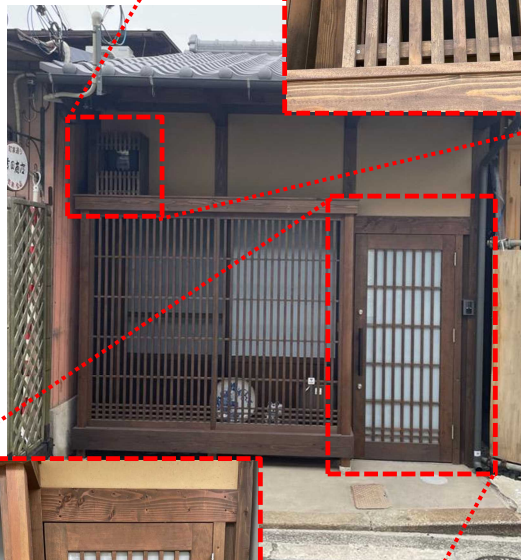
伝統的建造物の修理工事は、昔の写真や建物の木部等に残る古い痕跡に基づく復原を原則としますが、こちらの建物は電気工事店を営んでいたこともあり、外観から昔の姿を想起するのが難しい状況でした。

家主への聞き取りや現地調査などから、宮島町家の特徴でもある通り庭・ミセ・オウエ・ザシキを有し、表構えは、向かって右側に木製建具、左側に掃き出しの出格子が備えられた町家であったことが判明しました。これらの情報と周囲の建物や町並みの状況を加味しながら、修理計画を慎重に進め、昔の佇まいを色濃く残す宮島町家へと復原することが出来ました。

工夫された工事箇所

【電気メーター】

格子状の目隠しにより、
景観に配慮しています。

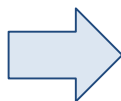


【玄関扉】

格子状の木製建具とし、
出格子と調和を図っています。



工事前



工事後

～ 伝統的建造物(候補)の紹介 No.9 《佐々木衣料品店》～

町家通りの角地に建つ、大正末期に建築されたと推定される町家です。

建築当時は、間口3間半、奥行き4間の平屋建てであり、2階部分と1階奥部分は増築したものと考えられます。

外壁の大部分は漆喰の塗り壁となっており、町家通り側は真壁造り、路地側は大壁造りとなっています。。

表の木製建具のガラスには、昭和中期頃まで流通していた「波打ちガラス」が使われており、建物内部から通りを見通すと、景色が少し歪んだように見えるのが特徴です。

このガラス越しに見る町家通りの風景を、家主はとても気に入っておられます。



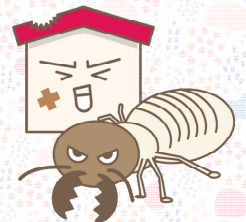
大正から昭和初期の面影を残す外観



木製建具と波打ちガラス

【補助制度】シロアリ駆除しませんか？

シロアリ駆除の時期は、4月～9月ごろが効果的です。



伝統的建造物の保存同意をいただいている所有者の方を対象に、シロアリ駆除のための補助制度を準備しています。(補助率9/10以内 上限100万円) ※予算には限りがあります。

シロアリ被害にお困りの方や心配の方は、ぜひ一度、宮島企画調整課までご相談ください。

連絡先：(0829) 30-9119

【建物相談会のご案内】

建物に関する相談会を実施します！宮島企画調整課の職員がお待ちしております！

○日時：令和7年7月11日（金）9時30分～16時00分〈予約は不要です〉

○場所：etto 宮島交流館 1階会議室

○相談事例：建物のお困り事（雨もり、白蟻、外壁劣化、耐震化...）、補助制度など

※もちろん秘密厳守です。